

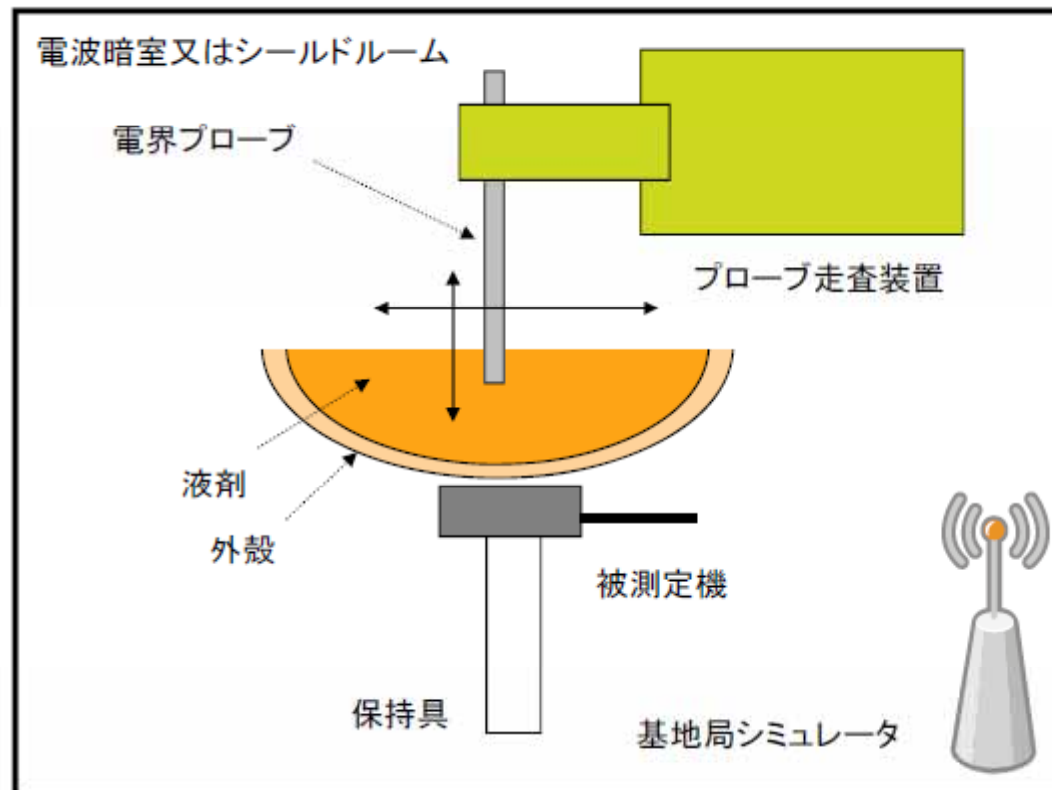
比吸収率測定方法作業班報告

2011年2月14日

作業班主任 渡辺(NICT)

本作業班の審議事項

- 比吸収率の測定方法
- その他関連する事項



これまでの審議概要

- 第1回会合 (H21.9)
 - 現行の比吸収率測定方法 (H18電技審諮問第108号一部答申) の概要について
- 第2回会合 (H22.2)
 - 国際規格化 (IEC 62209-2規格案) について
- 第3回会合 (H22.5)
 - 国際規格化 (IEC 62209-2:2010) について
- 第4回会合 (H22.7)
 - 国際規格化 (IEC62209-1改訂動向) について
 - 各国規制動向について

IEC 62209-1 (側頭部で使用される携帯無線端末のSAR測定方法)

IEC 62209-2 (側頭部以外の身体に近接して使用される携帯無線端末のSAR測定方法)

今後の予定

- 国際規格IEC 62209-2:2010を元に側頭部以外の身体に近接して使用される無線端末からの比吸収率測定方法についてとりまとめ。
- 各国の規制導入状況の把握。

IEC 62209-1と62209-2の比較

	IEC 62209-1	IEC 62209-2
適用範囲	側頭部で使用する無線機器	人体に対し20 cm以内に近接して使用される無線機器
対象部位	側頭部	側頭部を除く、頭部・胴体・四肢
想定対象機器	主に携帯電話 	側頭部以外の携帯電話・無線通信機器 
周波数	300 MHz – 3 GHz	30 MHz – 6 GHz
ファントム形状	頭部を模擬 	平面形状 
設置方法	頬の位置, 傾斜の位置	所定の使用状態を模擬
その他		基本的な部分は62209-1と同じ